

短命県返上のいま

あおもり健康施策検証
中路 重之 ①

まず、全40市町村で市町村長による健康宣言が出されました。本県だけの現象です。

その効果もあって、今年5月の保健協力員の全県研修会の参加者数は、5年前の2倍に達しました。市町村の健康づくりの勢いを表しています。

一方、2017年、県は「健康経営認定制度」を創設しました。認定企業には県の入札ポイントが与えられます。

これを機に、県下の職場の健康づくりが一挙に勢いづき、約200の認定企業が誕生しました。健康づくりには、市民の仲間が必要です。長寿県・長野にはこの仲間

以上です。そのようなわけで、三村申吾知事と県医師会の齊藤勝会長の肝入りで、15年、「県医師会 健や

また短命県の話かと言わないで、しばらくお付き合いください。なぜなら、その中には、青森の明るい将来を感じさせるたくさんのお話があるからです。

「健康経営認定制度」を創設しました。認定企業には県の入札ポイントが与えられます。

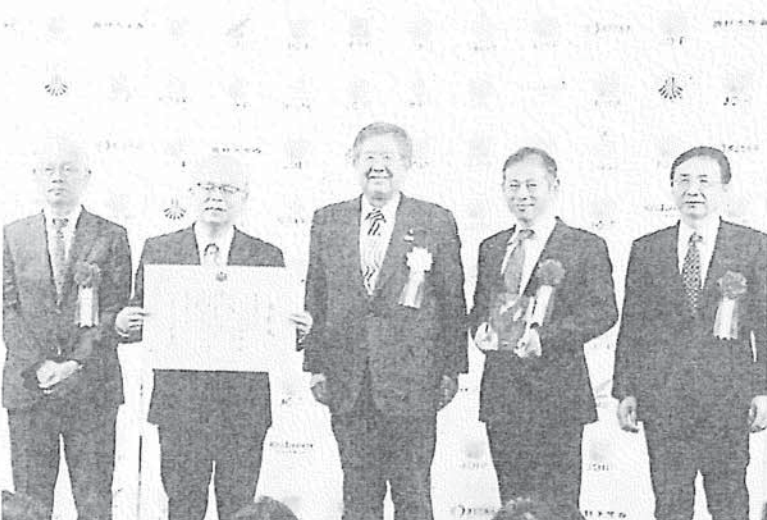
これを機に、県下の職場の健康づくりが一挙に勢いづき、約200の認定企業が誕生しました。

健康づくりには、市民の仲間が必要です。長寿県・長野にはこの仲間

健康づくりには、市民の仲間が必要です。長寿県・長野にはこの仲間

全市町村が「健康宣言」

チャレンジ 確実に成果



今年3月、都内で行われた「第1回日本オープンイノベーション大賞」の表彰式。左から2人目が中路特任教授

「官」は市町村や県、「学」は大学、「民」は県民・市民です。今、本県では、この産官学民が短命県返上のために大きく強く連携しています。一つの奇跡だと思えます。

「官」は市町村や県、「学」は大学、「民」は県民・市民です。今、本県では、この産官学民が短命県返上のために大きく強く連携しています。一つの奇跡だと思えます。

「官」は市町村や県、「学」は大学、「民」は県民・市民です。今、本県では、この産官学民が短命県返上のために大きく強く連携しています。一つの奇跡だと思えます。

へなこじ・しげゆき 弘前大学大学院医学研究科特任教授。1979年同大学医学部卒。2004年、同科社会医学講座教授。12年2月から同科科長、17年4月から現職。18年6月から県総合健康センター理事長。県医師会 健やか力推進センター長